

「浅沼組が協力会社協働による 作業所生産性向上策 表彰式・発表会を開催」

株式会社浅沼組（本社：大阪市、代表取締役社長 浅沼誠）は、10月29日、第2回協力会社協働による作業所生産性向上策 表彰式・発表会を開催いたしました。

この取り組みは、浅沼健一前社長の「浅沼組が将来にわたり持続的成長をするためには、共に作業所で働く協力会社様からの生の声を聞き、知恵を出し合うことが不可欠」という考えから、2017年度より始めた協力会社で構成する弥生会と当社による定期的な意見交換会から生まれた取り組みのひとつであり、また当社の中期3ヵ年計画の施策においても「協力会社との協働による生産性向上」を掲げております。

表彰式・発表会の開催に先立ち、浅沼誠社長より以下の挨拶がありました。

（浅沼誠社長 挨拶要旨）

作業所の生産性を向上させるには、協力会社様との協働による作業所独自のアイデアをもとに具現化した取り組みを情報収集し、会社全体に水平展開することが非常に有効です。

現在私たちを取り巻く外部環境は、過去に無いスピードで大きく変化し続けています。また、生産年齢の人口減少、大規模自然災害の発生が増大、新型コロナウイルスによる経済への悪影響の長期化など、多種多様な問題や危機が存在しています。

これらに対して浅沼組は、中長期的な視点を持って立ち向い、持続的成長を目指さなければなりません。その武器こそが、「浅沼組らしさ（独自性）」であり、さらにはそれを発揮していくことだと考えます。わたしは今回の生産性向上策こそが、その武器のひとつだと確信しています。

今回の発表内容に刺激を受けることにより、共に作業所で働く協力会社と知恵を出し合い、さらに沢山の生産性向上策が集まることを祈念しています。

この表彰式・発表会では、広く募集した当社の各作業所における生産性向上策の中から、社員投票及び審査委員によって選考された社長賞1件と優秀賞3件が表彰され、その後、受賞した4演題（後掲）の発表がありました。発表会においては、工期短縮効果や費用削減効果などの生産性向上には、新技術への対応だけでなく、改善意識と創意工夫が大事であることなどが共有できたと考えています。



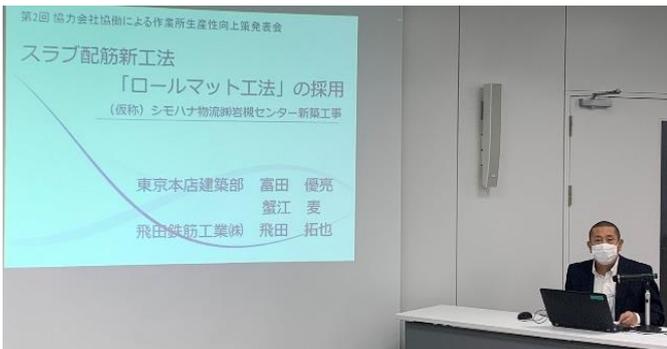
社長挨拶



社長賞 表彰状授与



社長賞 発表



優秀賞の発表

○ 発表演題

| 発表演題 | |
|----------|---|
| 1 (社長賞) | 「施工BIMによる関連複数業種への施工図展開及び現場確認」 一条高等学校講堂改築その他工事作業所 株式会社ホクエイ建設工業、阪神金物株式会社 |
| 2 (優秀賞1) | 「軟岩層を打抜く鋼管矢板土留工の生産性向上策について」 水資源豊川駒場池取水 (29) 作業所 株式会社聖 |
| 3 (優秀賞2) | 「体育館内部足場に移動式足場を採用」 都立東村山高等学校 (29) 改築工事作業所 株式会社池田工業 |
| 4 (優秀賞3) | 「スラブ配筋新工法「ロールマット工法」の採用」 (仮称)シモハナ物流(株)岩槻センター新築工事作業所 飛田鉄筋工業株式会社、株式会社ロールマットジャパン、JFE 商事鉄鋼建材株式会社 |

お問合せ先
〒569-0034 大阪府高槻市大塚町3丁目24番1号
株式会社浅沼組 技術研究所 立松 和彦
TEL 072-661-1620 FAX 072-661-1730